



経験に基づく 3 題を発表

第 52 回愛知県柔道整復学会
第 88 回会員研修会

7 月 2 日 (日) 午前 10 時から正午まで、愛整会館にて第 52 回愛知県柔道整復学会・第 88 回会員研修会が開催され、会員 194 名と勤務柔道整復師 5 名が参加した。

愛整学会は 10 時から行われ、以下 3 会員の発表が行われた。

1. 反復性肩関節脱臼の症例報告 田之上 哲人会員 (半田)



疼痛著明で整復困難な反復性肩関節脱臼に対し、経皮的神経電気刺激法 (TENS) を耐えうる最大許容量 (通電量) で用いて、脊椎後角での痛みのシナプス伝達を抑制する下降性疼痛抑制経路を活性化することで、痛みの伝達を抑制する物質であるノルアドレナリンやセロトニン等が分泌され、患部の疼痛が比較的早期に軽減し徒手整復に成功したと考えられると報告した。

2. 腰部に対するハーフポールを用いた独自に考案した体操後の FFD の変化について 山田 久美会員 (中村)



腰部捻挫の回復期に、おもに可動性の改善 (脊柱の分節運動と骨盤の前後傾のスムーズな運動) を目的として、ハーフポールを用いて簡単に行うことができる体操 (3 分・5 分) を患者に指導。その効果を FFD (体前屈測定) で評価した結果、3 分間の体操でも有意に減少した。脊柱分節運動の改善などにより FFD が減少したと考えられると報告した。

3. 新鮮アキレス腱皮下断裂保存療法—自家装具を使用している組織学的修復過程を意識した保存療法— 大塚 隆盛会員 (岡崎)



左新鮮アキレス腱断裂後、保存療法を希望して当院へ来院された症例に対し、組織学的な細胞の営み (受傷後 3 日目くらいから合成され始める III 型コラーゲン主体の細胞外基質が底屈 ROM ex. を行うことによる機械刺激により TGF-β が活性化し I 型コラーゲンなどの合成を促進) を考慮しつつ、ギプスと安価な自作装具を用いて行った保存療法とその経過について B モード超音波画像 (BUS) 観察所見とあわせ報告した。

* * * * *

11 時 10 分からの研修会は、学校法人米田学園米田柔整専門学校講師・齋藤哲也先生 (元学術部長・中村支部) が、「これからの活躍を期待される若い柔道整復師へ—プライマリ・ケアとして柔道整復師の守るべきこと—」と題して講演。



柔道整復師がプライマリ・ケアとして、適切に二次病院へ紹介をすることの重要性や、情報提供書の基本的な書き方を具体例を挙げて説明し、定形の書き方はないが、必要最低限の情報を満たし、かつ簡潔で読みやすい情報提供書を作成するように心がけるとよいのではないかと締めくくった。

7 月 23 日 (日)、愛知県武道館で東海ブロック柔道大会を開催。会員の部は惜しくも準優勝。少年形競技会は昨年の雪辱を果たし見事優勝。少年の部は小 4 女子・小 5 男女の 3 選手が優勝、その他 5 名が入賞した。



速報! 東海ブロック柔道大会 愛知県準優勝。

◆ 平成 29 年度愛知県柔道整復師会 防災訓練 (* は本会对応)

8 月 20 日 (日) 愛知県・春日井市総合防災訓練* (朝宮公園)

8 月 26 日 (土) 大府市防災訓練 (大府小学校)

9 月 2 日 (土) 尾張旭市防災訓練 (城山小学校)

9 月 3 日 (日) なごや市民総ぐるみ防災訓練

名東区* (豊が丘小学校)

天白区 (表山小学校)・守山区 (下志段味小学校)

岡崎市防災訓練 (六ッ美西小学校)

開催
予告

Welcome!! 新入会員

氏名	生年月日	支部	出身校	段位	趣味
中本隼人	S61.11.3	一宮	米田柔整	—	空手



6 月 25 日 (日) 正午より、全国から 104 名 (うち代理人選任届提出 1 名) の代議員が出席し、日整会館講堂において通常総会が開催された。本会からは森川会長・藤川副会長・長谷川副会長・早川理事・小林理事が代議員として、寛理事が傍聴者の一人として出席した。



日整通常総会開催

総会は正副議長に及川 磨 (岩手)・平良 光政 (沖縄) 両代議員が選出され、以下の議題について審議された。

- (1) 平成 28 年度決算案の承認について
- (2) 平成 29 年度会費免除者案の承認について
- (3) 役員を選任について
- (4) 会長及び副会長選定について

(1) (2) が可決承認されたあと、(3) の役員選任の選挙が行われた。東海ブロック 4 県の代議員 11 名から推薦を受けた森川会長を含む 19 名の全国会長らが理事に立候補。過半数を獲得した 14 名が選任された。森川会長は 2 期目にも関わらず、2 位と 13 票の大差の 88 票でトップ当選を果たした (6 月号既報)。

会長・両副会長は無投票にて、工藤 鉄男前会長、松岡 保・萩原正和前副会長が全会一致で承認、再選された。

総会の閉会が宣言されたのち理事会が招集され職務分担が検討された結果、森川会長は保険部長に指名された。ほか 1 名の保険部理事に三重県の伊藤宣人会長が再任され、部長指名により 4 名の保険部員の 1 名として藤川副会長が留任した。また保険部と関わりが深い学術部に長谷川副会長が配属され、東海勢が現在もっとも重要な活動の一翼を担うことになった。



大石会員に帰一精錬賞

柔道を通じて青少年の育成に尽力し社会に貢献した会員を対象とする帰一精錬賞が今期より新たに設けられ、6 月 25 日 (日) の総会前に授与式が行われた。第 1 回目の記念すべき受賞者 26 名のうち、大石 康会員 (半田) がトップの基準点を獲得して受賞した。



周知のとおり、大石道場主である大石会員は、オリンピックに出場した吉田秀彦・谷本歩実・中井貴裕・近藤亜美の 4 選手の師匠として有名で、「全国」の冠のつく少年大会すべてを制した、子供たちの育成・指導の第一人者である。

受賞の内規では、30 年以上の会員歴を有し、他の会員の模範と認められ、基準点 100 点以上を取得した者と定められている。

大石会員は日整に入会して 40 年余で八段 (20 点)。青少年に対する指導歴 41 年 10 か月 (30 点)、オリンピックまたは世界選手権出場選手の育成 (250 点)、小中学生または高校生全国大会出場選手の輩出 (72 点) など、合計が基準点を優に超える 402 点となり、群を抜いた輝かしい功績を挙げている。

大石会員は都合により当日の授与式には参加できなかったが、後日広報部の取材に対して、「このたび帰一精錬賞というすばらしい賞をいただきました。この上ない喜びです。『柔道整復師』という職業があったからこそ 40 年以上柔道の指導を続けてこられました。この賞に恥じぬよう今後も柔道を通して、青少年の健全育成に努めたいと思っています」と受賞の喜びと抱負を語った。